

ハーモニー

Harmony

第65号 2014年9月10日発行
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座

後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

目次

第22回学術集会(千葉)のご案内……………1	「私の県のここが特色」⑱……………7
第22回学術集会プログラム……………2	2014年度総会告示……………8
学会活動委員会の取り組みについて……………6	学会誌第18巻第2号投稿原稿の募集……………8
特別企画「東日本大震災を経験して 被災地の今」⑦……………7	事務局より……………8
	編集後記……………8

第22回学術集会(千葉)のご案内

2014年10月11・12日(土・日)

学会長 岡田 加奈子(千葉大学教育学部)

会員の皆様におかれましては、ますます清栄のことと存じます。このたび千葉県千葉市で開催いたします日本養護教諭教育学会第22回学術集会のご案内をさせていただきます。

日本養護教諭教育学会第22回学術集会では、メインテーマを「グローバル化時代を迎えた今—新たなる養護実践の創造—」と、致しました。国家、地域などのタテ割りを超えて、地球全体としてとらえる時代に、養護教諭も「目の前の子どもたちを見つめながら、グローバルな視点で、日本の、世界の、未来の子どもたちのことを考える」必要性を感じております。さらに、そのような現代、養護教諭にはどのような実践が必要とされているのでしょうか。養護の本質を見つめながら、現在の、未来の実践を考えられる学術集会にしたいと考えております。

そこで、学術集会初日(11日)は、理事会主催のプレコンgresとして『養護教諭の資質向上・力量形成』に係わる教育内容に関する検討を行います。学術集会最初のプログラムは、「養護の本質から、養護実践の未来へ」と題し学会長講演を致します。養護の本質を今一度考え、養護実践の未来を考えたいと思います。次にシンポジウムⅠ「グローバル化時代の今、どう見立てるか、どう創造するか—多職種の価値観を踏まえ、連携・協働する学校へ—」を行います。事例(ケース)を基に、参加者の皆様も一緒に考えて頂きながら、様々な職種の価値観を踏まえ、連携・協働する学校に向かって、議論を繰り広げたいと考えております。

続いて、シンポジウムⅡ「養護教諭に求められる力—養護教諭の養成と研修の未来—」と、日韓シンポジ

ウム「実践から今一度考える“養護教諭”の“養護”と“保健教師”の“保健”とは」を企画いたしました。韓国から保健教師(スクールナース)の方々がお10名程度お見えになります。養護教師から保健教師に名称変更した韓国とその実践を比較することにより、より養護教諭の養護の本質に迫りたいと考えております。その後は、養護教諭の倫理綱領検討特別委員会報告、懇親会と続きます。

2日目(12日)は、教育講演「学校臨床の視角—その奥深さと豊かさ—」と題し、磯邊聡氏(千葉大学)にご講演を頂きます。続いて、一般演題54題(口演25題、ポスター26題、ラウンドテーブル3題)の発表を行います。その中には事前講習会(全5回)に参加頂いた方の発表もございます。また、1人の発表者と参加者が輪になり、発表者のテーマに即して自由に意見を交換するラウンドテーブルは、一題の時間が長く、参加者も自由に発言できます。ただ、狭い会場が多く、皆様にご不便をおかけするかもしれませんが、それだけに顔が見える白熱した議論を期待しております。

昼食時は企業の協賛によるランチョンセミナーが2つございます。また、同時刻にはすでに200名の申込みを頂いている学生交流会もあります。その後、総会・ワークショップと続きます。また、『映画 隣の人』を見て、今一度『養護』とは何かを考えるも行います。日々多忙化する毎日、その日その日の仕事をこなすのが精いっぱいという中、是非、今一度養護の本質を考えながら、現代・未来にどのような実践が求められているのか、皆様とともに議論し、考える時間にしていきたいと思っております。三連休最終日13日(月祝)には、ディズニーランド観光など千葉の見どころをめくり、頭も心もパワーアップしてお帰り頂きたいと考えております。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日本養護教諭教育学会 第22回学術集会プログラム

メインテーマ：「グローバル化時代を迎えた今－新たなる養護実践の創造－」

期 日：2014年10月11日（土）12:00～12日（日）16:30

会 場：千葉大学西千葉キャンパス内 けやき会館（〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33）

10月11日（土）9:00～受付 けやき会館入り口ホール

◇プレコンgres（9:30～11:30）B会場（けやき会館3階レセプションホール）

「『養護教諭の資質向上・力量形成』に係わる教育内容に関する検討」

日本養護教諭教育学会理事会

◇学会長講演（12:00～12:45）A会場（けやき会館1階大ホール）……………座長 高石 昌弘（東京医科大学）
「養護の本質から、養護実践の未来へ」 岡田加奈子（千葉大学）

◇シンポジウムⅠ（12:50～15:20）A会場（けやき会館1階大ホール）

「グローバル化時代の今、どう見立てるか、どう創造するか－多職種の価値観を踏まえ、連携・協働する学校へ－」

コーディネーター：遠藤 伸子（女子栄養大学）・鎌塚 優子（静岡大学）

シンポジスト：中村富美子（沼津市立大岡南小学校） 山口 久芳（静岡大学）

三村由香里（岡山大学大学院） 天笠 茂（千葉大学）

指定発言：富田 久枝（千葉大学教育学部幼児教育）

◇シンポジウムⅡ（15:30～17:30）A会場（けやき会館1階大ホール）

「養護教諭に求められる力－養護教諭の養成と研修の未来－」

コーディネーター：池添 志乃（高知県立大学）・田村砂弥香（東京都教職員研修センター）

シンポジスト：澤 栄美（熊本市立白川小学校） 上村 弘子（岡山大学大学院）

田村砂弥香（東京都教職員研修センター）

指定発言：三木とみ子（女子栄養大学・本学会理事長）

◇日韓シンポジウム（15:30～17:30）B会場（けやき会館3階レセプションホール）

「実践から今一度考える“養護教諭”の“養護”と“保健教師”の“保健”とは」

コーディネーター：宍戸 洲美（帝京短期大学） 通訳：洪顕吉（嘉泉大学、韓国）

<日本>シンポジスト：中村 好子（京都市立金閣小学校） 指定発言：富山芙美子（帝京短期大学）

<韓国>シンポジスト：黄菊姫（森の中小学校） 権仁淑（梨花女子大付属高校）

指定発言：全恩慶（京畿道保健教育奨学士）

◇養護教諭の倫理綱領検討特別委員会報告（17:35～18:05）A会場……………座長 入駒 一美（岩手県教育委員会）

養護教諭の倫理綱領検討特別委員会 後藤ひとみ（愛知教育大学）他

◇懇親会（18:10～20:00）けやき会館 1階 コルザ

10月12日（日）8:30～受付 けやき会館入口ホール

◇教育講演（9:00～10:00）A会場……………座長 岡田加奈子（千葉大学）

「学校臨床の視角－その奥深さと豊かさ－」

磯邊 聡（千葉大学）

◇学会助成研究発表（10:05～11:05）A会場……………座長 高橋 香代（くらしき作陽大学）

「養成大学における養護教諭初任者支援プログラム開発」

○櫻田 淳（埼玉県立大学）

「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の系統的指導計画の開発と評価

－健康教育実践における養護教諭のマネジメント力向上の検証－」

○保坂小百合（倉敷市立連島北小学校）他

◇ランチョンセミナー (12:15~13:15) 1: B会場 2: 第5会場 (生協2階フードコート4)

- 1 一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター……座長 小路 泰弘 (電磁界情報センター所長代理)
「高周波電磁界の健康リスク評価-WHOの国際電磁界プロジェクトを中心にして-」
大久保千代次 (電磁界情報センター)
- 2 ノボ ノルディスク ファーマ株式会社……座長 関口美栄子 (千葉県立松戸向陽高等学校)
「低身長診かたについて」 浦上 達彦 (日本大学小児科学系小児科学分野)

◇自由集会 (12:15~13:15) 1: 第2会場 (けやき会館2階会議室2) 2: 第4会場 (けやき会館3階会議室4)

- 1 男性養護教諭友の会「養護教諭の養成から見出される『両性の尊重』」市川 恭平 (名古屋市立西養護学校)
- 2 達人養護教諭への道「スキルラダーを使ってみよう!」 中村富美子 (沼津市立大岡南小学校) 他

◇学生交流会 (12:15~14:15) 第6会場 (千葉大学教育学部大講義室)

◇総会 (13:20~14:20) A会場

◇特別プログラム<映画+対談> (14:25~16:30) A会場

「映画 隣る人」を見て、今一度「養護」とは何かを考える 映画上映85分+対談30分
ナビゲーター・対談: 砂上 史子 (千葉大学) 対談: 久留島太郎 (千葉大学教育学部附属幼稚園)

◇ワークショップ (14:25~16:00) ※ワークショップは、当日、会場にて先着順となります。

- 1 「救急救命指導者メソッド (実習含む)」 (定員: 実技20人+参観可) B会場
潤間 励子 (千葉大学総合安全衛生管理機構) 高柳佐土美 (千葉大学教育学部附属中学校)
- 2 「授業の達人から学ぶ-保健学習・保健指導に生かす技-」 (定員: 40人) 第2会場 佐瀬 一生 (千葉大学)
- 3 「校内研修に活かすケースメソッド教育」 (定員: 24人) 第3会場 鶴澤 京子 (千葉県立長生高等学校)
- 4 「DVD映像から学びあう保健室実践」 (定員: 40人) 第4会場 黒子 彩子 (千葉大学大学院教育学研究科)

◇口演発表Ⅰ 10月12日 (日) (11:06~12:09) A会場

- <養成教育>……座長 林 典子 (東海学園大学)
- I-1 健康観察に関する授業での学生の学びⅢ ○岡崎由美子 (倉敷市立倉敷東小学校) 他
 - I-2 自己課題と課題解決に着目した「教職実践演習」の進め方について ○貴志知恵子 (徳島文理大学)
 - I-3 養護実習のリフレクションによる養護実践力育成についての検討 ○斉藤ふくみ (茨城大学) 他
 - I-4 「子ども虐待防止の実践力」を育成する養護教諭養成の在り方 ○北口 和美 (近大姫路大学) 他

◇口演発表Ⅱ 10月12日 (日) (10:05~12:02) 第2会場

- <健康教育>……座長 竹鼻ゆかり (東京学芸大学)
- Ⅱ-1 高等学校定時制における性に関する指導の実態と課題~養護教諭及び保健体育科教諭へのインタビュー調査から~
○鈴木真紀子 (埼玉大学大学院教育学研究科) 他
 - Ⅱ-2 外部講師による「性」と「生」の教育における養護教諭の果たす役割 ○日垣 慶子 (熊取町立東小学校)
 - Ⅱ-3 集団予防接種によるHBV感染被害者が期待する学校保健 ○三並めぐる (広島国際大学) 他
 - Ⅱ-4 健康教育としてのB型肝炎 ○岡 多枝子 (日本福祉大学) 他
- <健康教育><組織活動>……座長 鈴木 裕子 (国士舘大学)
- Ⅱ-5 児童のCOの認識とプラークコントロールに関する研究 ~学校歯科医と養護教諭が連携した歯科指導~
○加藤木藤子 (川崎市立坂戸小学校) 他
 - Ⅱ-6 全校生徒の健康意識向上の取り組み~生徒保健委員会活動を活用して~
○矢板 正子 (千葉市立花見川第二中学校)
 - Ⅱ-7 学校におけるアナフィラキシー発症時の校内体制の構築~養護教諭が行う効果的な校内研修プログラムの試み~
○米嶋美智子 (鳥取大学附属小学校) 他

◇口演発表Ⅲ 10月12日(日)(10:05~12:02) 第3会場

- <養護実践><保健管理>.....座長 北口 和美(近大姫路大学)
- Ⅲ-1 保健室における生徒への対応によって生じる養護教諭の変容-省察を通して醸成していく養護教諭の思考に焦点を置いて-
○金谷 香子(青森県立尾上総合高等学校)他
- Ⅲ-2 保健室での子どもとの会話を可視化する-「会話ノート」の有効性- ○渡辺 哲代(金沢市立鞍月小学校)他
- Ⅲ-3 健康相談活動促進のための養護実践マトリックス活用の提案
~インシデント・プロセス法に基づく事例検討の分析から~ ○大塚 純子(糸魚川市立糸魚川東中学校)他
- Ⅲ-4 学校における起立性調節障害のアセスメント尺度開発(中学生版)に関する研究-第一報 OD児童生徒の実態-
○船越 夏可(渋谷区立神南小学校)他
- <養護実践><健康教育>.....座長 小林 央美(弘前大学)
- Ⅲ-5 養護教諭の行う生徒への対応における温電法とタッチングの効果
○金谷 香子(青森県立尾上総合高等学校)他
- Ⅲ-6 養護実践における合理的配慮を視野に入れた環境の整備
~自閉症スペクトラム障害のある子どもの保護者の語りから~ ○古川 恵美(畿央大学)他
- Ⅲ-7 児童が安心して学校トイレを使用するための方策~排泄の失敗の増加から見えてきたもの~
○菅原 里香(千葉市立千草台小学校)

◇口演発表Ⅳ 10月12日(日)(10:05~12:02) 第4会場

- <原論、歴史><現職教育><養護実践>.....座長 朝倉 隆司(東京学芸大学)
- Ⅳ-1 養護実践の理念や倫理綱領の具体化に関する研究①-倫理綱領(案)第11条の修正と検討-
○鎌田 尚子(高崎健康福祉大学)他
- Ⅳ-2 養護教諭のスキルラダー開発(第1報)-保健室経営について- ○中村富美子(沼津市立大岡南小学校)他
- Ⅳ-3 高校生の自己肯定感と生活習慣、学校環境適応感との関連 ○吉田 智子(関西創価中学校・高等学校)
- Ⅳ-4 養護教諭のワークステージにおける資質能力に関する研究-現職養護教諭への質問紙調査より-
○三村由香里(岡山大学)他
- <現職教育><保健管理>.....座長 河田 史宝(金沢大学)
- Ⅳ-5 フィジカルアセスメント研修に対する養護教諭のニーズ-18回の研修会実施をふまえて-
○林 三千恵(千葉県立楢橋高等学校)他
- Ⅳ-6 フィジカルアセスメントの自信度と取得免許、研修受講回数との関連-18回の研修会実施をふまえて-
○宇田川和子(千葉県立柏高等学校)他
- Ⅳ-7 幼児保育における看護・養護職への期待-『こども園』における保健担当者の職務についての考察-
○大野 泰子(鈴鹿短期大学)

◇ポスター発表 10月12日(日)(10:05~11:50) B会場

- <保健管理>.....座長 古賀由紀子(九州看護福祉大学)
- P-I-1 夜間定時制生徒の健康課題-食事と生活の実態から- ○大塚 朱美(千葉科学大学)
- P-I-2 高校生が抱く劣等感とそれに伴い生じる反応・行動との関連 ○本田 優子(創価大学)他
- P-I-3 知的障害を伴った自閉症児に対する視力評価方法の開発に関する研究
~知的障害特別支援学校における視力検査の充実を目指して~
○工藤 志歩(横浜市立公田小学校/横須賀市健康福祉センター)
- <保健管理>.....座長 鶴岡 和世(市川市立第七中学校)
- P-I-4 養護教諭不在時の対応-小学校と中学校の現状から- ○浦野早都紀(鈴鹿短期大学)
- P-I-5 身体計測の配慮と指導の工夫-児童生徒の意識調査を中心に- ○永原亜由美(鈴鹿短期大学)
- P-I-6 養護教諭のヒヤリ・ハットに至るプロセスの検討 ○高田恵美子(関西女子短期大学)
- <養護実践><その他>.....座長 中下 富子(埼玉大学)
- P-II-1 退職養護教諭の語りから見えてきた養護実践における信念とやりがい ○佐光 恵子(群馬大学)他

- P-Ⅱ-2 養護教諭の精神的健康度と首尾一貫感覚（SOC）に関する研究（第1報）
 -高等学校養護教諭を対象として- ○上原 美子（埼玉県立大学）他
- P-Ⅱ-3 特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究（1）
 -養護教諭の勤務校の概要・特別支援教育の実施の有無とその評価などについて-
 ○林 幸範（池坊短期大学）他
- P-Ⅱ-4 特別支援教育における養護教諭の役割に関する研究（2）
 -養護教諭とそれ以外の教員などとの連携について- ○石橋 裕子（帝京科学大学）他
- <養護実践><保健室経営>……………座長 下村 淳子（愛知学院大学）
- P-Ⅱ-5 不登校・教室外登校児童生徒に対する学校での支援と養護教諭の役割 ○藤井 咲衣（鈴鹿短期大学）
- P-Ⅱ-6 パーソナルポートフォリオの活用による自己管理能力を高めるための取組の評価
 -全校をあげた継続的な健康教育- ○川野 聡美（千葉市立大宮台小学校）
- P-Ⅱ-7 食物アレルギー児童生徒に関する養護教諭の役割について ○毛間内彩歌（北海道上士幌高等学校）他
- <現職教育>……………座長 斉藤ふくみ（茨城大学）
- P-Ⅲ-1 養護教諭のスキルラダー開発（第2報）-自己研鑽について-
 ○高橋佐和子（聖隷クリストファー大学）他
- P-Ⅲ-2 教育委員会等における危機管理と養護教諭研修の実態 ○入駒 一美（岩手県教育委員会）
- P-Ⅲ-3 養護教諭自身のメンタルヘルスに関する教育センター研修の実態
 ~自然災害対応におけるストレス及び心的疲弊に着目して~
 ○高橋 雅恵（岩手県立総合教育センター）他
- P-Ⅲ-4 養護教諭の対応に関する自己評価尺度の開発
 -中学生一人ひとりを対象とした自己決定・判断能力を育成するための対応-
 ○齊藤理砂子（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科）他
- <現職教育><養成教育><原論、歴史>……………座長 入駒 一美（岩手県教育委員会）
- P-Ⅲ-5 私立学校に勤務する養護教諭の研修ニーズに関する調査 ○大原 榮子（名古屋学芸大学短期大学部）他
- P-Ⅲ-6 教職実践インターンシップによる養護実践力の育成 ○棟方 百熊（岡山大学）他
- P-Ⅲ-7 「養護診断」の定義の歴史~杉浦氏から現在まで~ ○塩野 優子（相模原市立弥栄中学校）
- <組織活動><健康教育>……………座長 今野 洋子（北翔大学）
- P-Ⅳ-1 中学校における心の健康教育に関する養護教諭の実践検討 ○世一 和子（大垣市立中川小学校）
- P-Ⅳ-2 高等学校における保健だよりに関する調査 ○池田みすゞ（長野県北佐久農業高等学校）他
- P-Ⅳ-3 高校生の抑うつ傾向に関わる生活条件=生活の満足度= ○新沼 正子（近大姫路大学）他
- <組織活動><健康教育>……………座長 星埜 京子（葛飾区立南綾瀬小学校）
- P-Ⅳ-4 児童虐待の対応において養護教諭が認識している困難感の検討~学校内外の多職種・関係機関との連携の在り方~
 ○青柳 千春（桐生大学）他
- P-Ⅳ-5 小学校教師のエピベン研修の効果-仮想緊急時の行動理由からの検証-
 ○高田 薫（鎌倉市立植木小学校）他
- P-Ⅳ-6 歯科検診を題材とした保健指導による児童の生活行動と健康認識の変化
 ○向後 美和（千葉市立上の台小学校）他

◇ラウンドテーブル 10月12日（日）（10:05~12:05） 第1会場（けやき会館2階会議室1）

- <保健管理>……………ファシリテーター 酒井都仁子（千葉市立土気小学校）
- R-1 従来の色覚検査は遺伝子検査と同じ重みを持ちます ○高柳 泰世（本郷眼科・神経内科）他
- <養護実践>……………ファシリテーター 荒川 雅子（東京学芸大学）
- R-2 進学に伴うギャップを乗り越える学生・生徒の支援を考える ○大島 紀人（東京大学）
- <養成教育>……………ファシリテーター 池田みすゞ（長野県北佐久農業高等学校）
- R-3 養護実習の指導方法への提案 ○渡邊真亀子（聖徳大学大学院通信教育課程）

学会活動委員会の取り組みについて (ご案内)

後藤ひとみ (学会活動担当常任理事)

ハーモニー第64号でご報告した事業計画の進捗状況をお知らせします。合わせて、第22回学術集会(千葉)で行う学会活動委員会担当の企画についてご案内させていただきます。

1. 「学術集会における一般発表の演題区分の提示」について

第22回学術集会の開催に際し、第20回及び第21回におけるエントリー状況をふまえて、発表内容に適した演題区分が選択されるような改善を行いました。具体的には、10項目の演題区分に関する説明を補足し、間違いやすい例を提示しました。この改善が効果的であったかどうかは学術集会終了後に分析する予定です。

分析結果は「養護に関する学問体系」の検討に活用することも計画しています。また、演題区分は抄録集の表記に反映させる、学会会場でも明示することになっています。このような活動は、養護教諭教育の領域区分の意識化につながるものと期待しています。

●なお、6月に第22回学術集会事務局から送付された「一般演題」申込書及び演題申込要領に記載されている演題区分に修正があります。(誤) 1. 原理、歴史 → (正) 1. 原論、歴史です。

2. 養護教諭の資質向上や力量形成に関する事項の検討について

学術集会の開催前に行われるプレコンgressは、理事會主催の活動として定着してきました。そこで、第22回学術集会では、2014年度からの新規事業として承認された「養護教諭の資質向上・力量形成にかかわる教育内容の検討」について取り組むことにしました。この企画については、学会活動委員会委員に加えて、理事長、担当業務ごとの理事3名(総務担当:下村、学術担当:小林、学会誌編集担当:鈴木)の計7名で検討し、当日運営は全理事で行うことにしました。当日の企画は次の通りです。

<プレコンgress>

- ◆テーマ:「養護教諭の資質向上・力量形成」に係わる教育内容に関する検討
- ◆趣旨:養護教諭を取り巻く最近の動向として、実践力が問われていることなどを報告し、養護教諭の資質向上・力量形成に係わる教育内容についての情報提供と情報共有を行う。
- ◆内容:1)養護教諭を取り巻く最近の動向についての情報共有
 - ①日々の仕事において問われる実践力
 - ②教育職員免許法改正の動き

③大学院における養成の現状と課題

- 2) グループワークによる意見交換
- 3) 全体総括

3. 「養護教諭の倫理綱領」(案)について

6月15日に第6回、7月21日に第7回の「養護教諭の倫理綱領検討特別委員会」を開催しました。この間、第21回学術集会(神戸)で行ったプレコンgress参加者の意見を大事にしながら検討を進めてきました。

現在は、前文の内容及び条文の項目名を整理し、各条文の内容の文章化を進めています。全体の形が整ったところで、会員外の有識者からもご意見をいただくよう依頼などの準備を進めています。

第22回学術集会では、総会において前文と条文の項目名を提案し、ご審議いただく予定です。

については、学術集会1日目の全体企画の中で、養護教諭の倫理綱領に関する提案内容の説明を行います。詳細は下記の通りです。多くの方のご参加をお願い致します。

<養護教諭の倫理綱領検討特別委員会報告>

- ◆日時:2014年10月11日(土)
17:35~18:05
- ◆場所:千葉大学西千葉キャンパス内
けやき会館 A会場
- ◆内容:総会における提案内容の説明
 - 1)「養護教諭の倫理綱領」明文化の経緯
 - 2)2014年総会での提案内容(前文及び条文の項目名)について
- ◆司会・発表者:養護教諭の倫理綱領検討特別委員会委員

4. 養護教諭の専門領域に関する用語の検討

2012年10月1日発行の「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集<第二版>」は、現在も購入いただいております。養護教諭間で互いの実践について意見交換する際の共通理解に貢献しています。

発行以降、常時、意見募集を行っていますので、数年後の第三版発行にむけて忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



特別企画 『東日本大震災を経験して —被災地の今—』 ⑦

岩手の今—被災地に勤務する養護教諭との会話から—

堀籠ちづ子（元岩手県立大学）

「先生は、震災は喪失ではなく剥奪だとおっしゃっていましたがね。その思いと支援活動について書いてくれませんか」と、学会理事の先生からお話され、この機会をいただきました。剥奪は、震災があった二日後の3月13日以降何度となく被災地に向き目にした惨状と被災者と接するなかで実感したことです。

震災による本県の死者は平成26年7月31日現在、5114人（関連死を含む）、行方不明者は1132人に上ります。「あの日」から3年5か月が過ぎ4度目のお盆を迎えました。淡路景観園芸学校のマイスターや臨床心理士、児童精神科医、養護教諭部会の方々に支えられ、2011年から園芸療法によるストレスマネジメントを中心に、養護教諭をはじめとする支援者のための支援活動を行ってきました。昨年は事例検討会も実施しました。今日まで多くのご支援をいただき心から感謝申し上げます。

今年の8月7日、被災地である陸前高田市高田町で伝統七夕「うごく七夕」まつりが行われるというので、近くに勤務するA養護教諭に会いたい気持ちもあり行ってみました。津波で壊滅しがれさが撤去され更地となっていた高田町内では盛土工事が始まっており在りし日のまちは、大きく変わろうとしていました。私は震災直後から話をする際に気をつけていることがあります。それは、その方の被災状況の把握です。

Aさんとは偶然、被災地に向かう途中立ち寄ったコンビニで出会いました。声をかけ被災状況を確認したところ、「当時勤務していた沿岸中部の学校及び単身赴任先のアパートが被災、沿岸北部に勤務をしていたご主人とは9日間も連絡が取れなかった。幸いにも沿岸南部にあるご主人の実家は被害もなく、昨年からそこから通勤できる、校庭に仮設住宅が立ち並ぶ学校に勤務をしている」と話してくれました。心中を察するに余りあり、労いの言葉をかけるのが精いっぱいでした。また、震災の翌年定期人事異動により内陸部から被災地に単身赴任をしたB養護教諭に話を聞く機会がありました。着任早々からコーディネーターの役割を自覚し精力的に仕事を熟しているBさんは次のように話してくれました。「地域は、復興と言われているが、経済状態は極めて厳しい状況でありお金の問題で喧嘩もおこる。人もどんどんいなくなり地域が震災前とは大きく変わってきており、そのような中で子どもは生活している。養護教諭も様々で、支援に対して臆病になり、何もしないのが一番、そっとしておいてあげようという養護教諭もいる。それはその方の被災体験や現況と重なり合っているのかもしれないと思うとそれ以上は言えない。話さないからよく分から

ないので推しはかるしかない。子どもたちのなかにTVやビデオをみて再体験してしまう子もいる。入学してくる子どもたちに、言語をもたない、表現力が乏しいなどの変化が見られ、恐怖や感情を抑圧してきていると思われる子どもたちが増えてきている。このような子どもへの対応は、子どものこころと育ちをみながら支援できる養護教諭の役割だと思っている。多様な対応が求められている。自分は、乗り物に乗りたいたのに困難なことが起こり乗れない夢を見たり、バーンアウト的になり早朝覚醒と下痢が続くことが多い。無意識のなかで苦しみがあると思う。何より養護教諭がつながってお互いを支え合うことこそが大事」と、希望を持って生き抜いていける人間に育ってほしいと全力投球しているのがひしひしと伝わってきました。

養護教諭の支援が関係する方々の連携により行われていくことを切に望みます。養護教諭のほっとスペースになるようにと有志で「岩手ようごの会」を立ち上げました。具体的な活動はこれからですが、フリートークから始めていこうと話合っています。

私の県の「ここが特色」 ⑩

岡山県学校保健会養護教諭部会の 活動について

野々上敬子（岡山市立操南中学校）

岡山県学校保健会養護教諭部会は、小学校31ブロック、中学校8ブロック、高等学校・特別支援学校6ブロックに分かれ、会員数807名、会費3,000円で、学校保健の研究とその進展に寄与するとともに児童生徒及び教職員の健康の保持増進を期し、あわせて会員相互の研究向上を図ることを目的に次の事業を行っています。

- 1 研究活動の充実を図るため、次の3委員会を立ち上げています。
 - (1) ブロック研究推進委員会は、本会作成の刊行物「学校保健必携～健康教育編～」の編集と「学校保健必携～養護教諭マニュアル～」活用事例のホームページへのアップをしています。
 - (2) 情報教育推進委員会は、ホームページ「なごみ」の運営と養護教諭情報教育研修会の講師をつとめています。昨年度は会員の希望者に「エクセルⅠ」「エクセルⅡ」「ホームページビルダー」「アクセス」の4つのコースにわかれて研修を行いました。
 - (3) 研修推進委員会は、本会の運営方針や研修について検討をしています。
- 2 研修活動の充実としては、養護教諭の資質向上を図るため、保健教育・保健管理に関する研修で、岡山県養護教諭研修会を年2回（6月と1月）開催しています。内容は、県教育委員会の指導連絡、講演、特に6月の研修では、アドバンス研修として、会員の先進的取り組みの紹介をしています。また、夏期休業中には、

小学校・中学校・高等学校と特別支援学校の校種別夏期研修会を開催しています。また、本会では、「養護部会誌」を昭和35年に創刊号を発行してから5年ごとに発刊しており、最新号が11号（平成24年）になります。その時代の養護教諭の抱える課題と実践や会員の思い、養護教諭部会のあゆみなどが掲載されており、私たちの貴重な財産となっています。

- 3 要請活動としては、養護教諭の複数配置、管理職への登用、養護教諭の研修、教育センターへの長期研修員の派遣、教職員免許更新に必要な研修機関等の充実などの活動をしています。
- 4 連携・情報収集活動の充実を図るため、役員研修会の開催や全国養護教諭連絡協議会や学校保健関係の会議に出席して、会員に報告しています。

日本養護教諭教育学会 2014 年度総会告示

理事長 三木とみ子

下記の日程で2014年度総会を開催致します。

欠席される方は、同封の委任状を9月30日（火）必着にてお送り下さい。

- ☆日 時：2014年10月12日（日）
13：20～14：20
- ☆場 所：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館
- ☆議 題：1. 2013年度事業報告
2. 2013年度決算・監査報告
3. 2014年度事業経過報告
4. 2014年度補正予算審議
5. 2015年度事業計画
6. 2015年度予算審議
7. 規約等の改正
8. 研究助成金対象研究の選定
9. 理事選挙結果報告
10. 第24回学術集会（2016年）紹介
11. その他

学会誌第18巻第2号の投稿原稿の募集

（2015年3月発刊予定）

斉藤ふくみ（編集委員会事務局）

わが国において「養護教諭」を冠した学会誌は本学会誌のみです。その名にふさわしい養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動に関わる研究成果（論文）を募集いたします。第18巻第2号（2015年3月発刊予定）への投稿締め切り2014年9月30日（火）が迫ってまいりました。投稿される際には、投稿規定（学会誌第17巻第2号114～119頁）を熟読されて、十分推敲された原稿をご投稿ください。昨年の第21回学術集会で発表された研究を論文としてまとめて投稿いた

くなどご検討ください。また、第22回学術集会でご発表される研究につきましても、第19巻第1号以降の本学会誌投稿を視野に入れていただけましたら幸いです。

○投稿資格：本学会会員であること。

○論文の内容・テーマ：本学会の目的（会則第2条「本学会は、養護教諭教育（養護教諭の資質や力量の形成及び向上に寄与する活動）に関する研究とその発展を目的とする。」）にかなう論文であること。

○「研究目的・研究方法・結果・考察」が論理的に一貫していること。

○倫理的に問題がないこと（学会誌第17巻第2号113頁の本学会倫理綱領を参照のこと）。等です。

編集委員会でしばしば議論される点として①研究目的の明確性②研究方法の妥当性③図表の数や大きさ④規定枚数の超過⑤論旨の明瞭さ等です。ご留意ください。

<編集委員会事務局>

〒310-8512 水戸市文京2丁目1番1号
茨城大学教育学部教育保健教室 斉藤ふくみ
TEL/FAX 029-228-8298（研究室直通）
e-mail: fukumi@mx.ibaraki.ac.jp

事務局より

圓岡 和子（事務局長）

●学術集会内に事務局ブースを開設します

第22回学術集会の会場内に本部事務局を開設します。年会費の納入の他、新入会の受付、会員登録の変更などの諸手続きができます。まだ年会費をお支払されていない方は、どうぞご利用下さい。また、「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集<第二版>」や学会誌の販売も行っています。通常は非売品としている第9巻1号以降の学会誌も、学術集会中に限り販売しています。学会員以外の方も購入できますので、この機会にどうぞお買い求め下さい。

●委任状の提出をお願いします

2014年度総会に欠席される方は、委任状の提出をお願いします。同封した委任状に必要な事項をご記入の上、52円切手を貼って期日までに事務局までお送り下さい。

●住所等の変更は早めに連絡を！

転勤・就職などで連絡先が変更になった方は、メールかFAXにて事務局まですみやかにご連絡ください。特にハーモニー等の届け先を勤務先に指定している方は、転勤・転職が決まりましたら、事務局にもご一報下さい。

編集後記

研究と交流の場である年次学会（千葉）まであと1ヵ月となりました。皆様にお会いできることを楽しみにしています。ごきげんよう。（古賀）